

郷土・篠山が生んだ偉人、百科事典の「平凡社」創立、世界平和への情熱



下中弥三郎没後50年記念

みんな
きてや!

世界平和アピール 七人委員会

講演会&シンポジウム
in 篠山



講演会

2011年11月12日(土) 午後1時30分~5時
篠山市民センター・多目的ホール

篠山で考える日本と世界 「下中弥三郎の歩み(映像つき)」下中美都／「下中弥三郎と七人委員会1」小沼通二(物理学、慶應義塾大学名誉教授)／「賞味期限が切れた中央集権システム」辻井喬(詩人、作家)／「地域主権と世界連邦」武者小路公秀(国際政治学、大阪経済法科大学教授)／「いながが本番になる1」池内了(宇宙物理学、総合研究大学院大学理事)／「土と生きる—チェルノブイリそしてフクシマ—(映像つき)」大石芳野(写真家)／「ヒロシマ・ナガサキ・フクシマ」土山秀夫(病理学、長崎大学名誉教授)／「放射能汚染時代を生きる」池田香代子(ドイツ文学翻訳家、口承文芸研究家)



シンポジウム

2011年11月13日(日) 午前9時30分~12時
篠山市立丹南健康福祉センター

地域力を強める—これからの日本— 「下中弥三郎と七人委員会2」小沼通二／「私のみた立杭(映像つき)」大石芳野／「いながが本番になる2」池内了

※尚、シンポジウムは、講演会のテーマによるディスカッションが中心となります。

講演会、シンポジウムとも入場無料(但し、事前の申し込みが必要です)

お問い合わせ: 篠山講演実行委員会事務局 079-552-5117

関連イベント

10月から11月に開催

- 下中弥三郎 出版と教育展(「篠山市立図書館」等にて)
- やさぶろうのやきもの展(「陶の郷」にて)

七人委員会委員プロフィール (就任順)

武者小路 公秀 (むしゃこうじ きんひで)

専門は国際政治学。1929年ベルギー生まれ。大阪経済法科大学アジア太平洋研究センター所長、IMADR(反差別国際運動)副会長、大阪国際平和センター(ピース大阪)会長、アジア・太平洋人権情報センター(ヒューライツ大阪)会長など。元国連大学プログラム担当副学長。著書に、『人間安全保障論序説：グローバル・ファシズムに抗して』、『転換期の国際政治』、『新しい「日本のかたち」：外交・内政・文明戦略』(編著)など。

土山 秀夫 (つちやま ひでお)

専門は病理学。1925年長崎市生まれ。長崎大学名誉教授、長崎平和宣言文起草委員、核兵器廃絶ナガサキ市民会議代表、「核兵器廃絶一地球市民長崎集会」実行委員会顧問、長崎県九条の会共同代表ほか。元長崎大学学長。核兵器廃絶を中心とした安全保障や憲法問題についても精力的に取り組み、被爆地の立場から発言を続けている。「NPT体制崩壊の危機」「核兵器廃絶への期待と指針」「非核兵器地帯と被爆地の視点」、近著に『核廃絶へのメッセージ』『核廃絶への道』ほか、論文多数。

大石 芳野 (おおいし よしの)

写真家。1943年東京生まれ。フリーランスとして40年余りドキュメンタリー写真を撮り続けている。日本大学客員教授。写真集に『夜と霧は今』『沖繩に生きる』『HIROSHIMA 半世紀の肖像』『カンボジア 苦界転生』『ベトナム 凜と』『アフガニスタン 戦禍を生きぬく』『コンボ 破壊の果てに』『子ども 戦世のなかで』『不発弾と生きる～祈りを織るラオス』『黒川能の里～庄内にいだかれて』、近著に『それでも笑みを』ほか。土門拳賞、紫綬褒章受章。

池田 香代子 (いけだ かよこ)

翻訳家・作家。1948年東京生まれ。ドイツ文学翻訳と昔話の研究に明け暮れていたところ、9.11の大惨事とアフガン「報復」攻撃に衝撃をうけ、『世界がもし100人の村だったら』を出版したことから、人生も読書傾向も大きく変わってしまった。『ソフィーの世界』や『完訳 グリム童話集』のような、2000枚になんなんとする翻訳に没頭できた日々がなつかしい。

小沼 通二 (こぬま みちじ)

専門は物理学(素粒子理論)。1931年東京生まれ。現在、神奈川歯科大学理事、慶應義塾大学名誉教授など。元日本物理学会会長、元アジア太平洋物理学会連合会長、ノーベル平和賞を受賞したバグウォッシュ会議の元評議員。ハンガリー科学アカデミー名誉会員、素粒子メダル功労賞受賞。J. ロートブラットほか著『核兵器のない世界へ』の共同監訳、近著に『坂田昌一コペンハーゲン日記』(編)ほか。

池内 了 (いけうち さとる)

専門は宇宙論・宇宙物理学、科学と社会。1944年兵庫県姫路市生まれ。現在、総合研究大学院大学教授。京都大学、北海道大学、東京大学、国立天文台、大阪大学、名古屋大学、早稲田大学を経て、2006年より現職。現在は科学と社会の関わりについて教育・評論活動に従事し、「新しい博物学」を提唱。著書に、『疑似科学入門』『時間とは何か』『禁断の科学』『科学者心得帳』などがある。

辻井 喬 (つじい たかし)

詩人・作家。1927年東京生まれ。詩集に『群青、わが黙示』(高見順賞受賞)、『鷲がいて』(現代詩花椿賞、読売文学賞詩歌俳句賞受賞)など、小説に『虹の岬』(谷崎潤一郎賞受賞)、『父の肖像』(野間文芸賞受賞)、近著に『茜色の空』『辻井喬&山口二郎が日本を問う』などがある。2006年に第62回恩賜賞・日本芸術院賞受賞。日本芸術院会員、日本ペンクラブ理事、日本文芸家協会副理事長、日本中国文化交流協会会長。

七人委員会とは

世界平和アピール七人委員会は、1955年11月11日の発足以来、人道主義と平和主義に基づいて、国際間の紛争は絶対に武力によらず、平和的な話し合いで解決すべきだと考え、国内・国外に意見表明を続けてきた不偏不党の有志七人の会です。これまでに104本のアピールを発表し、毎年11月には国内の各地で講演会を開催しています。

世界平和アピール七人委員会連絡先：事務局長 小沼通二 FAX 045-891-8386 メール mkonuma254@m4.dion.ne.jp

下中弥三郎 (しもなか やさぶろう) 略歴

1878(明治11)年6月12日、今田村(現・兵庫県篠山市今田町)下立杭に陶工喜久蔵の子として生まれる。9歳で父を失い小学校を中退、陶工として働きながら百科辞典を読んで独学で勉強し、小学校教師、師範学校の教師となる。労働・婦人運動にも積極的に取り組みつつ、「出版とは教育である」という理念のもとに、1914年に『や、これは便利だ』という現代用語事典を著し、平凡社を創業。『世界美術全集』『現代大衆文学全集』などを次々に世に送り出し、一躍出版界の先駆者となる。晩年は、世界の国と人々がお互いの文化を尊重する平等で平和な「世界連邦」を提唱。「世界平和アピール七人委員会」を立ち上げ尽力した。1961年没。

関連イベント

10月から11月にかけて「下中弥三郎 出版と教育展」(「篠山市立中央図書館」等にて)「やさぶろうのやきもの展」(「陶の郷」にて)など、陶工から出版人になった弥三郎の魅力を紹介する展示を開催します。

氏名	住所	申込書	受付印
			TEL
次のいずれかに○を付けてください。			
11/12(土) 七人委員会講演会に		参加します	参加しません
11/13(日) シンポジウムに		参加します	参加しません

※ご記入いただいた個人情報は、上記講演会、シンポジウム以外に使用いたしません。